

動物実験計画承認申請書

北海道医療大学 学長 殿

(動物実験責任者)  
所 属  
職・氏名

動物実験について、下記のとおり計画立案しましたので、承認願います。

記

【1】研究課題

【2】新規・変更・継続の別

新規                      変更

継続 (承認年月日:平成 年 月 日 承認番号: 第 号)

【3】実験実施期間

実験開始:平成 年 月 日 実験終了:平成 年 月 日

※新規に申請可能な実験期間は、当該年度を含め最長2年度間とする。

1年度を経過し継続しようとする場合、「動物実験実施報告書」の提出と併せて継続申請すること。

【4】実験及び研究計画の概要

【5】使用動物種・系統及び計画頭数

動物種・系統

計画頭数

---

注1: 実験及び研究計画の具体的内容を「動物実験計画書」及び「動物実験実施者一覧」に記載し、添付すること。

注2: 継続申請の場合、承認済みの「動物実験計画書」と「動物実験実施者一覧」の写しを提出すること。

尚、動物実験実施者に変更ある場合、新たに「動物実験実施者一覧」を提出すること。



<p>想定される 苦痛の 카테고리 (該当項目に○)</p>	<p>B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど、あるいは全く不快感を与えない実験  C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽微なストレスあるいは短時間持続する痛みを伴う実験  D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスを伴う実験、麻酔や鎮痛剤、精神安定薬を用いることのできない実験、長期間にわたる潜在性ストレスを伴う実験、あるいは安楽死を適用できない実験  E. 麻酔していない意識のある動物を用いて、動物の耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与える実験</p>
<p>苦痛の回避軽減の 方法 (該当項目すべてに○)</p>	<p>1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。  2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。  3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。  (具体的薬剤名及び投与量・方法を記入： )  4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなど人道的エンドポイントを考慮する。  5. その他  (具体的に記入： )</p>
<p>安楽死の方法 (該当項目すべてに○)</p>	<p>1. 麻酔薬等の使用  (具体的薬剤名及び投与量・方法を記入： )  2. 炭酸ガス  3. 中枢破壊  (具体的方法を記入： )  4. 安楽死させない  (その理由を記入： )</p>
<p>実験室の承認状況</p>	<p>承認年月日： 平成 年 月 日 承認番号：第 号</p>
<p>動物実験委員会 記入欄</p>	<p>審議年月日： 平成 年 月 日</p>
	<p>修正意見等</p>
	<p>審議結果  <input type="checkbox"/> 本動物実験計画は、北海道医療大学動物実験の指針等に適合する。  (但し、本実験計画を遂行するに必要とする他の承認等の後に、実験を開始すること)  <input type="checkbox"/> 本動物実験計画は、北海道医療大学動物実験の指針等に適合しない。</p>
<p>学長承認欄</p>	<p>承認年月日： 平成 年 月 日  本動物実験計画を承認する。  承認番号：第 号    北海道医療大学長</p>



平成 年 月 日

動物実験実施報告書

北海道医療大学 学長 殿

(動物実験責任者)  
所 属  
職・氏名

平成 年度における動物実験実施結果について下記のとおり報告します。

記

【1】承認番号

第 号

【2】研究課題

【3】実験実施期間

実験開始：平成 年 月 日 実験終了：平成 年 月 日

【4】承認計画書記載事項と実験実施の変更点

【5】使用動物名・系統及び使用頭数等

動物種	系統	計画匹数	使用匹数	増減数

※動物実験計画書に記載の計画匹数と実際の使用匹数が異なる場合には、その理由を書くこと。

---

注1：必要に応じ、別紙を添付すること。



【5】飼養保管のための感染防止策

- (1) 施設内の清掃、消毒、滅菌
  
- (2) 飼育器材類の清掃、消毒、滅菌
  
- (3) 動物の逸走防止
  
- (4) 飼養保管に伴う廃棄物（動物死体を含む）の処理
  
- (5) 微生物モニタリングの実施

【6】特殊実験飼育保管室の有無

- 有  
(具体的に \_\_\_\_\_ )
  
- 無

注1：実験動物管理者として適任であることを示す文書がある場合には添付すること。

注2：下記の図面等を添付すること。

- ①周囲の建物との配置関係を示す図面
- ②飼育装置や付帯設備の配置を含めた施設内の建築平面図
- ③換気・空調設備の図面、性能等を示す資料

注3：必要に応じ、別紙を添付すること。

動物実験委員会 調査結果記入欄	調査年月日： 平成 年 月 日
	調査結果： <input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は関係法令等に適合する。 <input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は関係法令等に適合しない。 意見等：
学長承認欄	承認年月日： 平成 年 月 日
	本動物飼養保管施設を承認する。  承認番号：第 _____ 号  北海道医療大学長

平成 年 月 日

動物実験室設置承認申請書

北海道医療大学 学長 殿

(申請者)  
所属長  
職・氏名

動物実験室として、下記のとおり申請します。

記

【1】 実験室管理責任者  
所属：

職・氏名： .

【2】 実験室の状況

(1) 建物の表示名 (建築棟の名称等)

(2) 当該実験室を含む該当床全体の建築平面図

(3) 当該実験室の表示名 (室番号を記入)

(4) 実験室の換気・空調設備

【3】 動物実験の概要



【4】実験室の維持管理対策

- (1) 実験室内の清掃、消毒、滅菌等の対策
  
- (2) 実験に伴う廃棄物（動物死体を含む）の処理
  
- (3) 動物の逸走防止策
  
- (4) 臭気や騒音等による周辺環境への防止策

---

注1：実験室管理責任者は、講座主任等の所属長を記入すること。

注2：下記の図面等を添付すること。

①建築平面図には、当該実験室の位置を明示すること。

②付帯設備の配置を含む実験室内の平面図を添付すること。

注3：「動物実験の概要」欄には、動物種、年間実験予定頭数、実験内容、微生物汚染も含めた実験に伴う危険性の有無、安全性の確保策等について簡明に記載すること。

注4：必要に応じ、別紙を添付すること。

動物実験委員会 調査結果記入欄	調査年月日： 平成 年 月 日
	調査結果： <input type="checkbox"/> 申請された実験室は関係法令等に適合する。 <input type="checkbox"/> 申請された実験室は関係法令等に適合しない。 意見等：
学長承認欄	承認年月日： 平成 年 月 日
	本実験室を承認する。  承認番号：第 号  北海道医療大学長

平成 年 月 日

(実験動物飼養保管施設・動物実験室) 廃止届

北海道医療大学 学長 殿

(申請者)  
所属長  
職・氏名

下記の(実験動物飼養保管施設・動物実験室)を廃止しますので届出いたします。

記

【1】当該施設・実験室のある建物の表示名(建築棟の名称等)

【2】当該施設・実験室の表示名

【3】設置承認番号

第 号

【4】実験動物管理者・実験室管理責任者名

所属： 職・氏名： ・

---

注：下記の図面を添付すること。  
①周囲の建物との配置関係を示す図面  
②当該施設又は実験室内の平面図